



**@server**

**iSeries (AS/400)  
多機能漢字印刷ユーティリティー  
拡張機能用追補**

## 商標

AS/400、e (ロゴ) server、IBM、およびiSeriesは、IBM Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

第 2 版 2002 年 10 月

このマニュアルは、製品の改良その他により適宜改訂されます。

© Copyright International Business Machines Corporation 2002.

# はじめに

このたびは、iSeries™ (AS/400®) 多機能漢字印刷ユーティリティーをご使用いただき、まことにありがとうございます。

本書は、多機能漢字印刷ユーティリティー (5769AP1 および 5722AP1) における追加機能について、下記のマニュアルを対象としたバージョン/リリースの追補情報が記載されています。

対象マニュアル：

*IBM AS/400 多機能漢字印刷ユーティリティー バージョン3 (SH88-5019-00)*

バージョン/リリースおよび追加機能について：

V4R2 以降： 日本郵政バー・コード

V4R5 以降： Code 128 バー・コードおよび20倍角までの拡大文字  
V4R5、V5R1、およびV5R2には次のPTFが必要です。

V4R5 (5769AP1)： SF67557

V5R1 (5722AP1)： SI06517

V5R2 (5722AP1)： SI06567

また、V4R2以降のバージョン/リリースをご使用のお客様は、お手数ですが、本書でお知らせしている追加情報をお手持ちのマニュアルの該当ページに適用していただきますようお願い申し上げます。

該当ページ：

3-31, 3-48, 3-49, 3-50, E-1

(上記ページ以外には、修正はありません。)



## LINEパラメーター：行番号の指定

ADDAPW LINE (開始行番号 終了行番号)

LINEパラメーターは、次の2つを指定するときに使います。

- 次に来る固定文字の行番号を指定するとき。
- 選択した印刷機能(CPI, MAGNIFY, IGCCPIなど)が適用される行番号を指定するとき。

行番号は、1から書式長までの値が有効です。また、1行だけを指定する場合、終了行番号は省略できます。

## MAGNIFYパラメーター：拡大文字の指定

ADDAPW LINE (開始行番号 終了行番号)

MAGNIFY((開始桁番号 桁幅 拡大係数))

MAGNIFYパラメーターにより、指定した文字を拡大することができます。

このパラメーターは、LINE( )の他、次の項目を指定します。

開始桁番号: この印刷機能を使って文字の大きさを変更する最初の桁番号を指定します。1から書式幅までの値が有効です。

桁幅: この印刷機能を使って拡大係数による文字が適用される桁幅を指定します。1から書式幅までの値で、印刷機能が適用される最終桁が書式幅を超えない範囲が有効です。

また文字が拡大された結果、書式幅を超えるとエラーになり、印刷機能は無視されます。

拡大係数: 開始桁から桁幅について適用される文字の拡大係数を指定します。下記に示す1 - Oから選択してください。(Hは横、Vは縦を表します。)

1	1/2H x 1/2V	9	5H x 5V	H	13H x 13V
2	1H x 2V	A	6H x 6V	I	14H x 14V
3	2H x 1V	B	7H x 7V	J	15H x 15V
4	2H x 2V	C	8H x 8V	K	16H x 16V
5	2H x 4V	D	9H x 9V	L	17H x 17V
6	4H x 2V	E	10H x 10V	M	18H x 18V
7	4H x 4V	F	11H x 11V	N	19H x 19V
8	3H x 3V	G	12H x 12V	O	20H x 20V

有効な拡大係数は、プリンターによって異なります。詳しくは、プリンターに付属しているマニュアルを参照してください。

日本郵政バー・コードの場合は、この桁幅の範囲内にあるデータの先頭から最初のブランクの直前までを、バー・コード・データとみなします。

有効なバー・コード・データの長さは適用されるバー・コード・タイプによって異なります。E-1ページの付録E、『バー・コードの要約』を参照してください。

印刷できるバー・コード・データの長さは、プリンターによって異なります。長さの制限については、プリンターに付属しているマニュアルを参照してください。

バー・コード・タイプ： 開始桁から桁幅について適用されるバー・コードのタイプを指定します。下記の値から1つ選んでください。

- 1 Code 3 of 9
- 8 JAN短縮 (EAN-8)
- 9 JAN標準 (EAN-13)
- 10 Industrial 2 of 5
- 12 Interleaved 2 of 5
- 13 NW7
- 17 Code 128
- 27 JPBC (日本郵政バー・コード)

下記の項目は、省略することができます。また指定するときはバー・コード・タイプの後ならばどのような順番でもかまいません。ただし、一つのバー・コードに対して同じ項目を2度以上指定することはできません。

回転： 印刷されるバー・コード・記号の回転方向を指定します。\*HRZが省略時の値となります。

\***HRZ**: 時計まわりに0°

\***VRT**: 時計まわりに270°

\***R0** 時計まわりに0°

\***R90** 時計まわりに90° (日本郵政バー・コードにのみ有効)

\***R180** 時計まわりに180° (日本郵政バー・コードにのみ有効)

\***R270** 時計まわりに270°

**HRI**: 人間可読解釈文字(HRI)を挿入する場所を指定します。\*HRIが省略時の値となります。日本郵政バー・コードには無効です。

\***HRI**: HRIをバー・コード記号の下に挿入する。

\***HRITOP**: HRIをバー・コード記号の上に挿入する。

\***NOHRI**: HRIを挿入しない。

**HRI**アスタリスク： バー・コード・タイプがCode 3 of 9のときに、アスタリスクを印刷するかどうかを指定します。\*NOASTが省略時の値となります。

\***AST** Code 3 of 9の場合に、アスタリスクがHRIの中に印刷されます。

\***NOAST**: Code 3 of 9の場合に、アスタリスクがHRIの中に印刷されることはありません。

単位： 項目バー狭幅、スペース狭幅、バー広幅、スペース広幅、文字間空白、バーの高さの値として使われる単位を指定します。\*CMが省略時の値となります。

\***CM**: 項目の値の単位として、センチメートルを使います。

**\*INCH:** 項目の値の単位として、インチを使います。

**チェック・ディジット:** チェック・ディジットが印刷されるかどうかを指定します。0 から 2 までの値が有効です。日本郵政バー・コードには無効です。Code 128はこの指定の値にかかわらず、常にチェック・ディジット付きで印刷されません。

チェック・ディジットの有効な値と、省略時の値は適用されるバー・コード・タイプによって異なります。E-1ページの付録E、『バー・コードの要約』を参照してください。

下記の項目は、省略することができます。また指定するときはバー・コード・タイプの後ならばどのような順番でもかまいません。しかし、括弧で囲まれた項目表現でなければなりません。項目表現は、特殊値と項目値から成ります。また、一つのバー・コードに対して同じ項目を2度以上指定することはできません。特殊値は左括弧に続いてすぐアスタリスクで始まります。項目値にはすぐ右括弧が続きます。特殊値と項目値は少なくとも1つの空白で分けなければなりません。項目表現は、1つの項目に相当し、他の項目の値とは少なくとも1つの空白で分けられなければなりません。

例えば:

BARCODE((2 10 1 \*VRT (\*BARNRW 0.005) \*CM))

**バー・狭幅:** (\*BARNRW 値) の形式で印刷されるバー・コード記号のバー・狭幅を指定します。値の単位はセンチメートルまたはインチで単位項目の値によって決まります。バー・コード・タイプがJAN短縮またはJAN標準のときは、この値は最小バー幅を意味します。この項目を指定しないときは、印刷装置の省略時の値が使われます。単位がセンチメートルのときは、0.001から57.797までが有効です。単位がインチのときは、0.001から22.755までが有効です。

**スペース・狭幅:** (\*SPCNRW 値) の形式で印刷されるバー・コード記号のスペース・狭幅を指定します。値の単位はセンチメートルまたはインチで単位項目の値によって決まります。バー・コード・タイプがJAN短縮またはJAN標準のときは、この値は最小スペース幅を意味します。この項目を指定しないときは、印刷装置の省略時の値が使われます。単位がセンチメートルのときは、0.001から57.797までが有効です。単位がインチのときは、0.001から22.755までが有効です。

**バー・広幅:** (\*BARWDE 値) の形式で印刷されるバー・コード記号のバー・広幅を指定します。値の単位はセンチメートルまたはインチで単位項目の値によって決まります。バー・コード・タイプがJAN短縮、JAN標準、Code 128、または日本郵政バー・コードのときはこの値は使われません。この項目を指定しないときは、印刷装置の省略時の値が使われます。単位がセンチメートルのときは、0.001から115.597までが有効です。単位がインチのときは、0.001から45.511までが有効です。

**スペース・広幅:** (\*SPCWDE 値) の形式で印刷されるバー・コード記号のスペース・広幅を指定します。値の単位はセンチメートルまたはインチで単位項目の値によって決まります。バー・コード・タイプがJAN短縮、JAN標準、Code 128、または日本郵政バー・コードのときはこの値は使われません。この項目を指定しないときは、印刷装置の省略時の値が使われます。単位がセンチメートルのときは、0.001から115.597までが有効です。単位がインチのときは、0.001から45.511までが有効です。

**文字間空白:** (\*CHRGAP 値) の形式で印刷されるバー・コード記号の文字間空白幅を指定します。値の単位はセンチメートルまたはインチで単位項目の値によって決まります。この項目を指定しないときは、印刷装置の省略時の値が使われます。単位がセンチメートルのときは、0.001から115.597までが有効です。単位がインチのときは、0.001から45.511までが有効です。

注: この項目は、バー・コード・タイプがCode 3 of 9またはNW7のときだけ有効です。

バーの高さ: (\*HEIGHT 値) の形式で印刷されるバー・コード記号の高さを指定します。値の単位はセンチメートルまたはインチで単位項目の値によって決まります。この項目を指定しないときは、印刷装置の省略時の値が使われます。単位がセンチメートルのときは、0.001から115.597までが有効です。単位がインチのときは、0.001から45.511までが有効です。

HRIフォント: (\*FONT 値) の形式で適用されるバー・コードのHRIフォント・スタイルを指定します。この項目を指定しないときは、CRTAPWコマンドのFONTパラメーターに指定された値が使われます。下記の値から1つ選んでください。

- 0 明朝体 12cpi
- 1 明朝体 10cpi
- 2 明朝体 8lpi
- 3 ゴシック
- 4 サンプルOCR-B
- 5 縦書き 1バイト文字
- 6 コンデンス印刷 (18cpi)
- 7 クーリエ
- 8 エリート

注: 印刷装置とバー・コード・タイプの組み合わせによっては、バー・コードのHRIフォント・スタイルを変更できないものがあります。詳細については、プリンターに付属しているマニュアルを参照してください。

1 原始ステートメントで複数のフィールドについてバー・コードを指定する場合は、次の方法で記述してください。

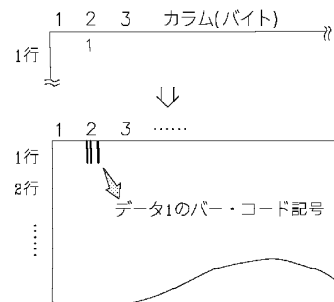
```
ADDAPW LINE ( ) BARCODE ((c1 w1 t1 ... )....( cn wn tn ...))
```

**cn:** 開始桁番号  
**wn:** 桁幅  
**tn:** バー・コード・タイプ

最大20個のフィールドを1つのBARCODEパラメーターに対して指定することができます。

ADDAPWコマンド上で他の印刷機能とバー・コード印刷機能を一緒に指定することはできません。APWは指定した開始桁番号から、桁幅の範囲内でバー・コード・データを検索します。

バー・コード記号が印刷される位置は、下図のようにバー・コードの先頭桁がページCPIで印刷される位置と等しくなります。





## 付録E. バー・コードの要約

表 E-1. APWでサポートされるバー・コード・タイプ				
バー・コード・タイプ	コードあたりの桁数	有効な文字の範囲	省略時のチェック・ディジット	有効なチェック・ディジット
1 - Code 3 of 9	1から100まで可変	0から9 AからZ, (大文字だけ) -,...\$(X'5B')*1/,+,%, ブランク	1	1-チェック・ディジットなし 2-チェック・ディジット付き
8 - JAN 短縮 (EAN-8)	7	0から9	0	0-チェック・ディジット付き
9 - JAN 標準 (EAN-13)	12	0から9	0	0-チェック・ディジット付き
10 - Industrial 2 of 5	1から100まで可変	0から9	1	1-チェック・ディジットなし 2-チェック・ディジット付き
12 - Interleaved 2 of 5	1から100まで可変	0から9	1	1-チェック・ディジットなし 2-チェック・ディジット付き
13 - NW-7	1から100まで可変	0から9, 開始文字と終了文字は AからD (大文字のみ) で なければならない -,...\$(X'5B')*1/,+,:;	1	1-チェック・ディジットなし 2-チェック・ディジット付き
17 - Code 128	1から100まで可変	プリンターのマニュアル 参照	1*2	1-チェック・ディジットなし*2 2-チェック・ディジット付き*2
27 - JPBC (日本郵政バー・コード)	7から50まで可変	0から9 AからZ -	無効	無効
注:				
*1: カタカナ・コード・ページを使用するときは、¥(X'5B')を\$(X'E0')の代わりに入力してください。ただし、バー・コードHRIには、'\$'と印刷されます。				
*2: DEVTYPE (*SCS) の場合は、チェック・ディジットなしを指定してもチェック・ディジット付きで印刷されます。				

